



香取郡市ミニバス大会の結果



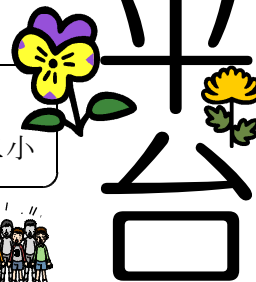
24日(金)25日(土)に香取郡市ミニバス大会が香取市民体育館、佐原小学校を会場に行われました。男女とも接戦でしたが、初戦で敗れてしまいました。選手の皆さんお疲れ様でした。試合結果は次のとおりです。

【男子】

米沢小 ●15-27○ 津宮小

【女子】

米沢小 ●18-19○ 八都二小



町民音楽会に参加してきました



町民音楽会には全校で参加しました。1～3年生の合唱奏と4～6年生の合唱・合奏を披露しました。十分とはいえない練習量でしたが、かわいい歌声ときれいなハーモニーを響かせることができました。

米沢小 学校だより
平成26年度第17号
10月27日(月)発行



(編集後記)

時計のカウントが6分から始まり0(ゼロ)になったと同時に“BOO ~~~~~。”と無情にもブザーが鳴り、試合が終わった。その瞬間、子どもたちの眼から大粒の光るものが見えた。▼本校では4年から部活動に参加している。ミニバスはもっとも人気があり、指導する先生方も気合いが入ります。それはそうと、今年の6年生は男子がたった1名です。6年生は“学校の顔”ですリーダーです。部活動では、陸上、水泳とももちろんキャプテンです。彼は一人でチームを引っ張ってきました。チーム内に同学年がいないことが、どれだけ心細かったか計り知れません。どれだけ試合で負けた責任を自分一人で抱えてきたか知れません。どれだけ相談したい仲間がほしかったか知れません。それでも彼は一人でがんばってきました。チームでただ一人の6年生として。彼は米沢小56名の立派なリーダーになりました。▼スポーツほど勝ち負けがはっきりすることはありません。それがわずかな10cm足らなくても、わずか1点差であっても、勝者と敗者が生まれ、大きな違いができます。その結果、勝っても負けても涙が出るのがよくあります。もちろん、うれし涙と悔し涙です。米沢小学校ミニバス部は悔し涙を流しました。でも、今回の大会でうれし涙で大会を終わるのは男女1チームずつだけです。ほとんどのチームは負けて終わり、悔し涙を流すのです。▼では、やり場のない気持ちをどうすればいいんでしょう。どうしようもありません。私も今までたくさん負けを経験してきましたが、耐えるしかありません。でも、待ってください。ただ、耐えるだけではいけません。どうすればいいのか。何が大切なことを忘れていないか。それは、よく言われていることですが、負けから学ぶことです。▼負けは人を2倍も3倍も大きくしてくれます。スポーツばかりでなく人生だって挫折を経験して人は強くなると思います。人生これから、勝ちも負けもあると思います。「負けから何を学ぶか」で人間の価値が決まるのだと思います。悔しいから次に向かってがんばれるのだと思います。どうせダメだとあきらめた人には、次に勝ちを待っていません。子どもたちにはこの悔しさを忘れず「次は絶対に勝つぞ」という強い気持ちでマラソン、駅伝に向けてがんばってほしいものです。保護者の皆様、たくさんの応援ありがとうございました。これからもよろしくお願ひします。